

2012MHC 登山講習 残雪の槍ヶ岳(3180m)登山 報告

6月9日 AM4:00 雨の降る暗い松本、参加者12名が3台の車に乗り合わせて出発。AM5:00 沢渡でタクシーに乗り換え上高地へ向う。AM6:00 バスターミナル広場で、神奈川から参加した1名を加え、総勢13名となって準備を整え、登山開始。雨に煙る新緑の林道を、明神、徳沢を経てAM9:15 横尾まで進む。



道端のヤグルマソウを横目に先を急ぐ シャクナゲも満開に咲き競う ニリンソウが一面に咲く横尾付近

横尾からは梓川溪流沿いに進む。道沿いには、雨に濡れたニリンソウ、サンカヨウ、ツバメオモトの花々が冷たそうに咲いている。坂を登り一汗掻くと AM11:00 林の中の槍沢ロッジに到着、ロッジ内で雨を避けて昼食を摂る。中休止後、早々と出発。雪崩跡の小山を登降し、ババ平上部からは、アイゼンを装着し、槍沢溪流を埋める残雪を踏んで登る。PM1:35 槍沢を仰ぐ大曲りに到着する。気温が低く、降り続く雨に皆ずぶぬれ状態。上部から吹き降ろす風がさらに体温を奪う。思案し今日の登山を諦め、撤退を決める。PM3:00 槍沢ロッジに引返し、泊す。



早朝ヘッドランプ頼りにデブリ跡を行く 大曲から槍沢上空に青空を仰ぐ 槍沢の大斜面をステップ切って登る

翌10日 AM2:30 起床、生渴きの衣類を着込み、AM3:45 暗闇の中、ヘッドランプを頼りに再び登る。天候は夜半までの雨が上がり曇空。AM5:45 大曲りに到着。ここから槍沢の大斜面を仰ぐと霞んでいた上空に青空が広がり始めた。雪の急斜面にステップを切って登り続け、AM7:45 グリーンバンドによりやく登り出る。



グリーンバンドから稜線を望む 槍岩峰 100m を登る AM10:50、槍山頂 3180mに見事登頂

グリーンバンドからは、晴れていれば、三角推形状の槍が美しく望まれるが、徐々に稜線が白い霧に隠れていく。視界の効かない白い世界に、一步、一步、重い足取りで、雪の斜面を登り続ける。AM10:00 槍ヶ岳肩によりやく全員到着する。小休止して、アイゼンを脱ぎ、軽荷で無雪の槍ヶ岳 100mの岩壁を登る。AM10:50、槍ヶ岳山頂に全員見事登頂。皆満面の笑顔で握手を交わす。「よかった!、がんばったね、おめでとう!」

山頂に15分程憩いの後、岩壁を慎重に降りる。槍肩まで降りてくると、霧の中から槍ヶ岳がその美しい姿を徐々に現し始めた。皆歓声を上げて喜ぶ。AM11:50 槍ヶ岳山荘に別れを告げ、下山開始。雪の急斜面を、滑落停止の練習を繰り返しながら降下する人、シリセードで一気に滑り降りる人、それぞれ雪の槍沢を楽しみながら下山していく。



霧の中から、徐々に姿を現した槍ヶ岳を背景に記念撮影



槍沢を一気にシリセードで下山

PM2:00 槍沢ロッジに全員が到着。ロッジ特製ラーメンで腹ごしらえをして、早足で下り PM3:30 に横尾、横尾からは一気に飛ばし PM5:15 上高地へ無事下山する。PM5:45 沢渡。PM6:45 松本へ帰還、解散とした。「6月の槍ヶ岳は、天候の急変に出会いながらも、雪の大斜面を克服して登頂する喜びを、心底味わった登山だった。」

MHC 登山講習責任者 MHC 理事長 鈴木雅則